

No.	意見等 日付	委員名 (敬称略)	ご意見・ご質問	回答
1	3月23日	小林斗志子	この資料は、企業側からの申請に対して、認可したということなのか。	利用定員を設定する際、子ども・子育て会議等の意見を聞くことが必要とされておりますので、そのための資料となります。
2	3月23日	小林斗志子 田中元三郎	たけうま保育所の定員は0と書かれているが、閉鎖になったと言うことなのか。	令和4年3月31日をもって事業廃止となります。
3	3月23日	小林斗志子	上尾市の保育施設の需給バランスは、どう変化したのか。	現在、令和4年4月1日入所の2次募集を終え、これから精査していきます。待機児童数と共に保育需要については、7月以降に公表する予定です。
4	3月23日	小林斗志子	この資料とともに、上尾市の方針とどう合致しているのか、が分かるとよいと思った。 ・待機児童解消につながった。 ・都市部だけの偏在化が解消された。 ・利便性を考えて駅近に設置した。 等、子育て世代へのメリットを書いていたけると、分かりやすかった。	ご指摘ありがとうございます。 今回の2施設は、都市部だけの偏在化の解消、あるいは利便性の良い駅近での整備となりました。
5	3月24日	吉田 雄二	先生の確保はされているのか。先生の人数が確保されているのであれば、返信等は求めない。	事業者が、開所に向けて保育士確保に努めております。
6	3月25日	長 いづみ	小規模園で育ったお子さんは、3歳児に移行するときに再度保育園を探さなくてはならないが、各園はその点を見据えて定員を決めた方が良いのではないかと。 保護者も保育園を探すのに苦勞し、小規模保育園の体制も絡むことでもあるので、意見とさせていただきます。	ご意見として承ります。
7	3月25日	長 いづみ	保育園では0歳から5歳児まで預かっているが、園児が3歳児から幼稚園に移ってしまうこともある。在園児が減少すると保育園の運営にも影響するので、各園はその点を見据えて定員を決めた方が良いのではないかと。	新設園の定員数については、保育需要を見据えて、必要な保育提供体制を確保しながら設定することとなります。
8	3月28日	戸野部直乃	たけうま保育所は閉園するという解釈でよいか。定員数変更の理由を教えてください。	代表者より、高齢となり保育事業の継続が難しいことから、令和4年3月31日をもって事業を廃止する旨の申し出が令和元年にありました。
9	3月28日	戸野部直乃	たけうま保育所のある小泉地域において、利用定員19名程度を補完する小規模保育所の開所予定は今後あるかどうか。	現在、小泉地域において小規模保育事業所の開所予定はございませんが、大石地区という範囲では、令和4年度に75名定員の私立保育園が整備され、令和5年4月に開設が予定されております。
10	3月28日	戸野部直乃	たけうま保育所に通園していたお子さんたちは、全員別の園へつなぐことができたかどうか。	在園児に影響がでないよう配慮し、令和2年度から段階的な受け入れを行ってまいりましたので、現在の在籍児は、今年度で小規模保育事業所を終了する2歳児9名のみでした。市外転出等を除く在園児全員の受け入れ施設については、既に決まっております。